

津ライスニュース 平成28年産第3報 (通算第104号)

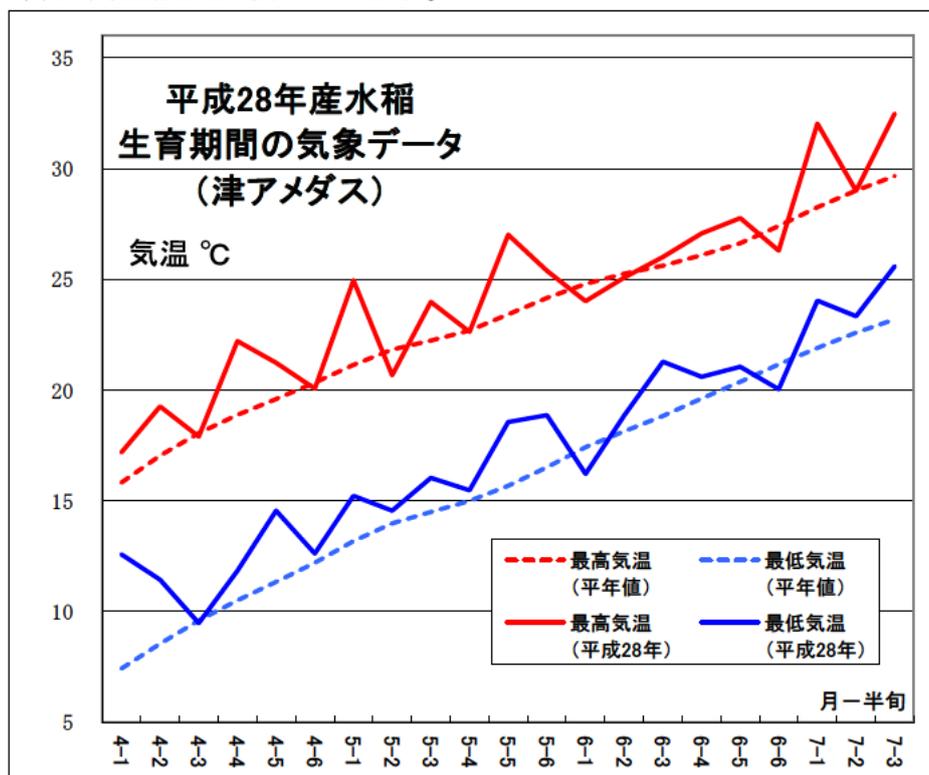
平成28年7月14日

津地域農業改良普及センター 電話:059-223-5103

気象経過

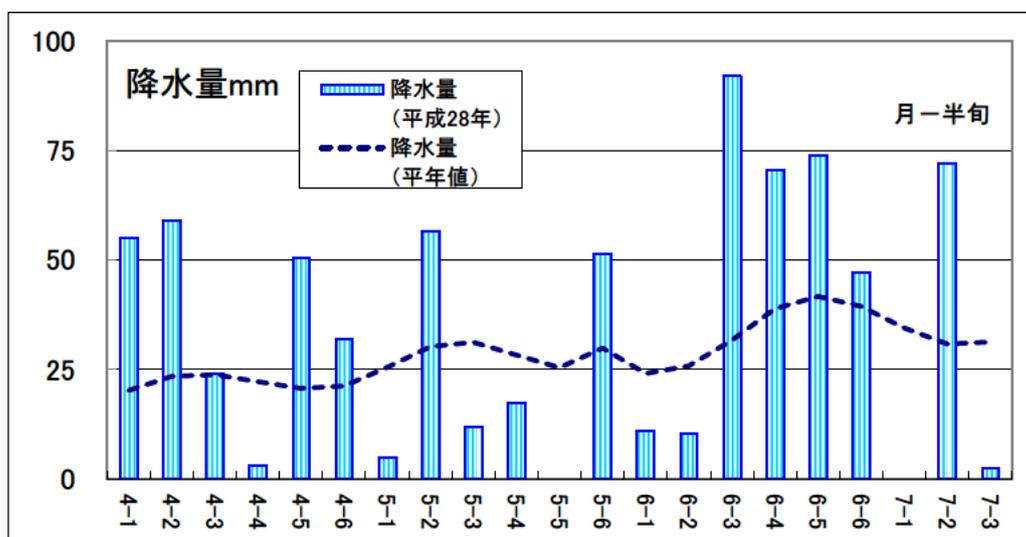
<気温>

4月以降、気温は高めに経過しましたが、6月は平年並みとなりました。
7月以降は高温傾向に戻っています。



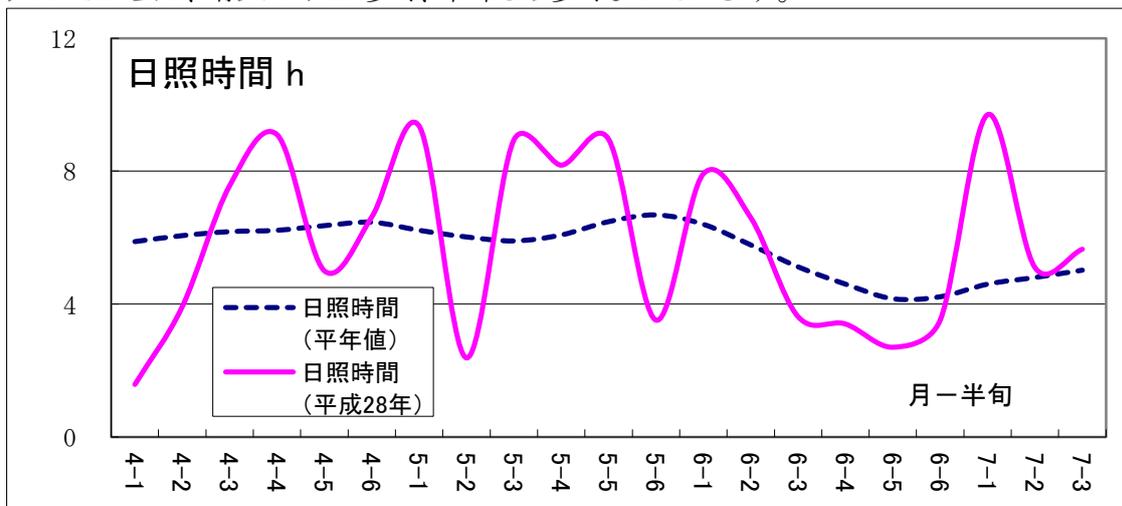
<降水量>

6月以降、降水量は平年より多くなっており、6月の降水量は平年比約 150%となっています。



<日照時間>

6月は雨の日が多かった影響で、日照時間は平年より少なくなっています。7月に入ってから、晴天の日が多く、平年より多くなっています。



生育の概況

津管内の生育基準田でも生育は順調で、地域間による差はみられますが、ほぼ前年同時期と同程度の生育状況となっています。また、出穂が始まっているほ場も多くなっています。

○水稲生育基準田の調査結果【平成28年6月30日現在】

品種	調査地点	移植日	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
				(本/m ²)	(本/株)		
コシヒカリ	殿村	4月21日	81	397.2	31.1	9.5	35.6
	安濃	4月25日	69	313.8	21.4	9.5	33.8
	一志町井生	4月29日	71	388.2	19.8	9.8	31.4

【参考】前年同時期の調査結果 (平成27年7月2日)

品種	調査地点	移植日	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色 (SPAD)
				(本/m ²)	(本/株)		
コシヒカリ	殿村	4月21日	80	229.5	24.2	-	33.1
	一志町井生	4月25日	72	471.3	24.6	-	30.2

今後の栽培管理

<水管理>

- ・出穂期は、水を保ちます。出穂後から収穫7日前までの期間は間断灌水を続けます。水をかける場合はなるべく夕方にしましょう。
- ・水の溜めすぎは根の老化や根腐れの原因となります。(根数は出穂前20日頃に最大となり、出穂期には新根がほとんど出なくなります)
- ・早期落水は未熟粒や胴割れ米等が多発し玄米の品質が低下するので、落水は収穫前7日以降としましょう。(玄米の大きさは開花後25日頃に決まります)

<病害虫防除>

○いもち病

今後のいもち病の発生は、「やや多～多」との発生予察情報が出ています。引き続き注意が必要な状況です。ほ場を見回って、発生を確認した場合は早急に防除して、いもち病の進展、拡大を防ぎましょう。早期発見、早期防除が肝心です。

穂いもちに対しては、予防散布が原則です。薬剤防除は出穂期から穂揃い期に実施しましょう。

○斑点米カメムシ類

今後の斑点米カメムシ類の発生量は、「やや多～多」との発生予察情報が出ています。畦畔等、ほ場周辺での発生に十分注意してください。

カメムシ類の増殖場所となるような畦畔雑草を早めに除去しましょう。

薬剤防除は穂揃い期に実施しましょう。広域での一斉防除が効果的です。

<適期収穫>

・穂の基部に緑色籾数が3～4粒程度残る頃が収穫適期です。また、コシヒカリでは籾水分が26～28%の頃が収穫適期となります。

・早刈りは未熟粒(青米や充実不足)の増加、刈り遅れは茶米や胴割粒の増加となり、いずれも品質が低下します。品質向上のために適期収穫を励行しましょう。

○水稻生育予測

【平成28年7月12日現在】

品種	移植期	出穂期 (平年との差)	成熟期 (平年との差)
コシヒカリ	4月25日	7月18日 (1.8日早い)	8月22日 (1.0日早い)
	5月15日	7月29日 (1.3日早い)	8月31日 (2.2日早い)
	6月10日	8月18日 (0.8日早い)	9月23日 (1.3日早い)
みえのゆめ	4月25日	7月28日 (2.3日早い)	9月2日 (2.0日早い)
	5月30日	8月19日 (1.6日遅い)	9月25日 (2.0日遅い)
三重23号	4月25日	7月13日 (1.6日早い)	8月15日 (1.7日早い)
	5月10日	7月23日 (1.2日早い)	8月24日 (1.1日早い)

※三重県農業研究所作成の生育予測システムVer9.2による予測です。

気象庁アメダス津観測地点データ(直近10ヶ年の平均気温)を使用しています。